

平成 26 年度
行政評価諮問事業に係る答申書



平成 26 年 11 月

愛南町行政評価委員会

目 次

1 審議経過

- (1) 評価対象の事務事業 P 1
- (2) 評価の手順 P 1
- (3) 会議の開催数等 P 1

2 当委員会の評価

- (1) 評価の視点 P 2
- (2) 評価の種別 P 2
- (3) 評価の内容 P 3
- (4) 評価一覧 P 3

諮問事業評価表 P 4～P11

3 委員名簿 P 12

1 審議経過

(1) 評価対象の事務事業

平成 25 年度に実施した次の 8 事業である。

番号	事業分野	事業名
1	交通	コミュニティバス運営事業
2	医療	愛南町子ども医療費助成事業
3	食育	食育推進大会実施事業
4	観光	観光客誘致事業
5	健康増進	母子健康診査事業
6	高齢者福祉	緊急通報体制等整備事業
7	学校教育	特別支援教育支援員配置事業
8	スポーツ	愛南町いやしの郷トライアスロン大会実施事業

(2) 評価の手順

まず、諮問事業の担当課が評価を行い（1次評価）、その後当委員会が担当課へのヒアリングを実施し、各委員がそれぞれの諮問事業について評価を行った。

そして、各委員の評価を取りまとめて意見の集約を行い、討議の上、当委員会の評価を決定した（2次評価）。

(3) 会議の開催数等

回数	年月日	主な審議の内容
第1回	平成 26 年 7 月 1 日（火）	町長からの諮問について
第2回	平成 26 年 9 月 18 日（木）	諮問事業担当課へのヒアリング
第3回	平成 26 年 10 月 28 日（火）	委員の評価の取りまとめ
第4回	平成 26 年 11 月 25 日（火）	答申書（案）について
答 申	平成 26 年 11 月 25 日（火）	平成 26 年度諮問事業について、町長へ答申

2 当委員会の評価

(1) 評価の視点

① 妥当性

- ・社会情勢の変化等により、事業実施の意義が低下していないか。
- ・特定の個人や団体などに受益が偏っていないか。
- ・住民ニーズはあるか。
- ・次年度以降実施する緊急性があるか。

② 有効性

- ・事業の意図に対して、事業内容が有効かどうか。
- ・事業の意図が、施策や基本事業の成果指標の向上に結び付いているか（上位貢献）。
- ・今後事業を継続する場合、成果が向上する余地はあるか（向上余地）。

③ 効率性

- ・民間への委託、NPO法人等の協力により、効率的に事業を実施できないか。
- ・対象や意図を絞り込んだり拡充することで、費用対効果を上げることができるか（対象等見直し）。
- ・成果を低下させずにコストを削減できるか（削減余地）。

(2) 評価の種別

① このまま継続

- ・事業執行の妥当性、有効性及び効率性は問題ないため、事業を前年度と同様に執行していく。

② 拡大

- ・人員や予算などの投入を拡大し、より大きな成果を上げることをめざす。

③ 縮小

- ・人員や予算などの投入を制限し、事業規模を縮小する。

④ 執行方法の改善

- ・手段や方法を見直すことにより、成果の向上や経費の削減などをめざす。

⑤ 事業統合

- ・他の事業と統合し、効率的な事業執行や成果の向上をめざす。

⑥ 休止／廃止

- ・事業の目的を達成した、又は成果が上がらないなどの理由により、一時的に休止又は廃止する。

(3) 評価の内容

当委員会の諮問事業に対する評価の詳細については、次ページ以降に記載しているとおりである。

評価に当たっては、(1) 評価の視点による各委員の妥当性、有効性及び効率性の評価を集計し(10名の委員がそれぞれの項目に対し1票ずつ投票)、各委員から提出された意見・提言とともに討議の参考とした。最終的に当委員会の評価は、(2) 評価の種別から選択し、決定した。

なお、「このまま継続」以外の評価では、併せて具体的な改善案等を提言している。

(4) 評価一覧

番号	事業名	担当課	評価
1	コミュニティバス運営事業	総務課	このまま継続/ 執行方法の改善
2	愛南町子ども医療費助成事業	町民課	このまま継続/ 拡大
3	食育推進大会実施事業	水産課水産振興室	このまま継続
4	観光客誘致事業	商工観光課	このまま継続
5	母子健康診査事業	保健福祉課	このまま継続/ 拡大
6	緊急通報体制等整備事業	高齢者支援課	このまま継続
7	特別支援教育支援員配置事業	学校教育課	このまま継続
8	愛南町いやしの郷トライアスロン大会実施事業	生涯学習課	このまま継続

コミュニティバス運営事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	5票	2票	2票	1票
有効性	4票	4票	2票	
効率性	4票	4票	1票	1票
計	13票	10票	5票	2票

2 各委員からの意見・提言

- ・バス運行自体、特定地域のみでの運行となっている上に料金が激安なため不公平さを感じるが、利用者にとってはなくてはならないものである。難しいとは思いますが、運行方法の検討が必要だと思う。
- ・宇和島自動車は路線廃止した3路線にコミュニティバスを運行しているが、料金100円では56号沿線のバス利用者との均衡が取れず、不平等になっている。もう少し値上げすべきではないか。
- ・民間が運行していないから、ニーズはある。
- ・事業の効率性について、コンサルタント会社の調査結果に基づき見直しが必要である。
- ・地域住民のニーズに沿った運行計画の検討が必要である。
- ・利用者が減少する中で、このままでは費用がもったいない。
- ・3路線の内、増田・広見・上大道線及び小山・正木・中川・満倉線については、日曜日に運行されないのが、日曜日の町内のイベントのための送迎に使えたり、いろんな団体の用途に合わせてレンタルしてくれたらいいと思う（レンタカーや社協のマイクロバスを借りることがある。）。
- ・交通手段のない人たちにとっては必要なことなので、現状維持でよいのではないか。
- ・コストがかかりすぎる。
- ・公共とはいえ、財政を圧迫する事業であるため、今一度契約・運用体制を見直すべきではないかと思う。
- ・路線を見直してはどうか。
- ・補助金等でコミュニティバスを運行し、運賃も100円のままでも運営できていることに驚いた。宇和島バスの運賃との差が少し気になる。
- ・バス停留所から500m以上離れた高齢者については、福祉タクシーが利用できるの安心した。
- ・料金等について、将来的には値上げ等を考えなければならないかもしれないが、車の使えない老人や学生にとっては、ありがたい料金とルートである。
- ・継続してやっていただきたい。
- ・インフラなので、収益性を厳しく見る必要はないと思う。

3 当委員会の評価

このまま継続／
執行方法の改善

基本的にはこのまま事業を継続しながら、今後の公共交通の見直しに当たっては、地域の実情を踏まえるとともに、費用の節減に努めていただきたい。

愛南町子ども医療費助成事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	8票	1票		
有効性	9票			
効率性	4票	4票		1票
計	21票	5票	0票	1票

2 各委員からの意見・提言

- ・特別な事態（集団食中毒など）で予算超過した場合、制度利用者に対してスムーズに対応していただきたい。
- ・高齢者医療制度との均衡を図る必要があるのではないか。
- ・財政にも限りがあり、特に愛南町は高齢化が進展していることから、将来的には保護者の所得制限を考慮すべきである。
- ・事業の効率化は求められないが、事務処理の効率化は可能である。
- ・住民の要望も高いだけに、子育てしやすい愛南町のイメージを高めていただきたい。
- ・今後、児童医療支援の拡大を検討していただきたい。
- ・生活費の中で、医療費の占める割合が増えると大変なので、助かっている。
- ・チラシ等で制度の浸透を期待することも大事だが、必要な入院を求められるケガや病気は、それほどないと思う。入院以外の児童医療費助成の拡大を期待したい。
- ・行政の立場での仕事だと思うので、民間への委託は、ちょっと違うと思う。
- ・少子化に伴い、この制度が改善されることを願う。
- ・児童医療費は、子どもが3人以上の場合は入院に限らず通院も助成があれば、少子化を防げるのではないかと。
- ・県立南宇和病院での治療が年々困難になっているため、宇和島市立病院への通院・入院も多いので、交通費等の負担の軽減もあればよいと思う。
- ・予算が許されるなら助成は続けてほしい。
- ・安心して子育てができる状態にしてあげることが大切である。
- ・児童医療費・入院者に対する手続は、申請する人数も少ないので、国保連合会システム改修費用をかけず、このままの現状維持でいいのではないかと。
- ・小中学生の通院も乳幼児同様に無料となれば、子育て中の家庭としては助かるが、無料だから軽度でも病院へ、ではなく、いざという時のための無料であるという住民側の意識改革も必要だと感じる。
- ・乳幼児、児童の医療費の全額負担が望ましい。
- ・若年層の就業状況（収入の低下、非正規雇用等）からすれば、安心して子育てをするために最低限必要な制度である。
- ・少子化対策に最も効果的なのは直接給付だと思う。
- ・補助金の関係もあって、足並みを揃える必要もあるのですが、小中学生の通院助成も早期に実現していただきたい。

3 当委員会の評価

このまま継続／… 基本的にはこのまま事業を継続しながら、入院以外の児童医療費助成の拡大を期待したい。

食育推進大会実施事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	3票	2票	4票	1票
有効性	3票	3票	3票	1票
効率性	1票	4票	3票	2票
計	7票	9票	10票	4票

2 各委員からの意見・提言

- ・小中学校で食育教育を続けていけば、子どもの家族などに少しずつ広がっていくので、根気強く広めていくべきである。
- ・小中学生の中では認知度も高いと思うが、大人の認識が低いと思う。
- ・施策の成果指標である健康づくりの平均実践項目数への貢献度合いが見える形にしてほしい。
- ・父兄等に周知させる施策が必要かと思う。
- ・予算も少額であり、大会実施事業なのでこのまま継続がよい。
- ・重要な事業であるため、各課協力したネットワーク体制の充実・実践が必要である。
- ・国の方針という「枠」とらわれず、子ども、大人、高齢者、障害者等のいろいろな人が参加できる大会の方が効率が上がる気がする。
- ・ぎょ食がメインで力が入っている気がするが、こういう事業をきっかけにみかんなどの農作物の特産物の売上げにつながる動きがあってもいいと思う。
- ・ゆらり内海で子どもたちが考えた「タイレッ丼」を販売していることから、いろいろ生産化することでいろんな効果が期待できると思う。
- ・大会参加に際して、障害者の方への送迎サービスがあるといいという声を聞いたことがある。
- ・町全体には行き届いていない。知らない人の方が多く、実施される地域だけが盛り上がり、食事のことは公民館等で指導しながら、料理を作りながら学んでいく方法など、もう少し分かりやすい取組にすればよいと思う。
- ・大会以外での大人へのアピールカに乏しい。
- ・現在のままでは、地域の一事業としての域を超えられないと思われる。
- ・有効的なアピール不足のため、何を求めているのか、町民への伝え方を見直すべきである。
- ・子どもと大人の意識に温度差があると思われる。
- ・食育に関して、もっと身近に小中学生に指導があってほしい。
- ・国、県、町での取組姿勢が明確なので、このまま継続してほしい。
- ・全町民が関心を持てるように、広報紙等にレシピ等が記載されれば少し意識が変わってくるのではないかと思う。
- ・ぎょ食、食育ともに素晴らしいことだと思う。
- ・レシピ、郷土料理、日本文化その他食に関することすべてにおいて行政だけに頼らず、食育大会で得たものを家庭に持ち帰り実施していくことが本当の食育につながっていくと思う。
- ・あまりなじまない。当たり前のことを事業でやるべきか疑問である。
- ・「食育」が何を目標に行われるのか、あいまいで分かりづらい。イベントをやるにしても、毎回テーマを絞ってはどうか。
- ・学校と地域住民の交流という側面は、意義があると思う。

3 当委員会の評価

このまま継続

観光客誘致事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	8票	1票	1票	
有効性	7票	3票		
効率性	5票	3票	1票	1票
計	20票	7票	2票	1票

2 各委員からの意見・提言

- ・南予いやし博以降、B1グランプリ等の新たなイベントも増え、誘致事業は以前より充実している。
- ・イベントは、集客動員を減らさず継続していく難しさがあるので、内容をマンネリ化せず開催することが大事だと思う。集客動員が激減するようなイベントは、止めるべきである。
- ・従前のイベントは、中身を工夫しながら継続すべきである。
- ・他府県に「愛南町」を知ってもらうため、他府県へ出て行ってイベントをするなどの施策を検討してはどうか。
- ・愛南町だけではなく、近隣の市町との連携を強めたイベント・企画が必要ではないか。
- ・愛南町が元気になって良いと思う。
- ・町内の企業の雇用につながってほしい。
- ・新鮮な魚や自然に恵まれた愛南町だが、柏までは高速道路が実現されるなど交通の便が良くなればもっと良くなると思う。商工観光課の努力を評価したい。
- ・PRについて、webで拡大していけばよいと思う。
- ・7、8月のイベントを花火大会とのマッチングで計画すれば良いと思う。
- ・商工観光課のPR効果で愛南町のご当地キャラクター「なーしくん」の知名度・好感度が上がってきていると思う。
- ・全国になーしくんが浸透してほしい。
- ・このままいろいろな面で愛南町の特産品や特色のPRを期待する。
- ・芸能人を親善大使に採用してはどうか。
- ・行政主導から脱して、新たな事業として持続可能な観光資源を開発できるよう人材の育成を考えてはどうか。

3 当委員会の評価

このまま継続

母子健康診査事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	9票	1票		
有効性	9票	1票		
効率性	5票	3票	1票	1票
計	23票	5票	1票	1票

2 各委員からの意見・提言

- 制度の実績は、上がっていると思う。
- 健診対象者に、意見要望を聴取するためのアンケート調査等を実施してはどうか。
- 予算計上時、診査委託料の実績と予算にかなりの誤差が生じているので、精査して減額を検討してはどうか。
- 妊婦さんに対する活動指標・成果指標を評価表に加えるべきではないか。
- 母子保健法に基づく子育て支援の独自性を発揮していただきたい。
- 積極的な妊婦健診助成事業の要望を県に提言すべきである。
- 以前は出産までに数万円自己負担があり大変だったが、とても助かっている。
- 妊娠期の歯科検診にも受診券があればいいと思う。
- 婦人科受診と違って、妊娠中に歯科に行くのは、おそろかになりがちだと思うし、保健指導だけでは改善されない気がする。
- 乳児の歯科受診は、乳幼児医療費助成の対象になるが、小1以上になるとお金もかかるため、受診しなくなる傾向もあると思うので、歯に関しては小1で区切らず、継続できる制度があれば、もっと虫歯が減るのではないかと思う。
- 健診の時、子育ての悩みなど老人会の人達と話すなど、一人で悩まないで聞いてもらう機会を作ると良いのではないか。
- 親の意見や要望をヒアリングする機会を適時行い、そのニーズに対応できるようにするべきである。特に、子どもの数が今後減少することが予想され、この予算も余ると思われる。
- 合併当初に比べむし歯が減りとても良いことだと思うので、永久歯になってからも小・中学生のフッ素洗口を強化していただきたい。
- 里帰り出産者に対しても支援があって安心して出産できるのでよい。
- 少子化なので、いろいろなサポートが増えていくことを願っている。
- 幼児、小学生対象のフッ素洗口を中学生や高校生にも拡大できないか。
- う歯率は合併当時より半減する成果が出ているが、中学に上がったとたんう歯率が上がるのはどうかと思う。
- 今までどおり手厚い保護が必要である。
- 子どもの健康のためにぜひ必要な事業なので、健康に関する指導等の周辺の施策も含めて維持・拡充をお願いしたい。

3 当委員会の評価

このまま継続／… 基本的にはこのまま事業を継続しながら、妊婦の歯科受診への助成拡大を期待したい。

緊急通報体制等整備事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	9票	1票		
有効性	9票	1票		
効率性	5票	4票	1票	
計	23票	6票	1票	0票

2 各委員からの意見・提言

- ・所有機器の維持管理、リース機器への移行など検討すべき事項がある。
- ・委託相手方が一社しかないとのことであり、競争相手がほかにいないかよく調査の上、検討する必要がある。
- ・町内で一本松地域とその他の地域で事業手法が異なっているので、統一すべきではないか。
- ・機器の老朽化を改善するためにコスト増にすべきである。
- ・台数に限りがないよう、必要な台数は予算化すべきである。
- ・これから独居老人が増加するのだから重要な事業である。
- ・評価表の改善・改革・新たなコストの欄に表記がないのは問題である。
- ・リース方式を検討していただきたい。
- ・見守り推進員の自己申告制度でよいのか。
- ・独居老人2,199人の必要性は今後も高まるため、財政と相談の上、リース契約による機器整備が必要と考えられる。
- ・介護保険や制度の関係で、行政として取り組む限界等もあると思う。
- ・過疎地域で持ち家の方は、近隣の付き合いがありそうだが、借家やアパートの方が心配である。
- ・委託料が多いので、大きな企業の警備会社ではなく、民間ができる事業があれば、雇用対策としてよいのではと思う。
- ・ボランティアで独居の方を訪問しているが、一人住まいでない方もいらっしゃって、きちんと把握できてない部分もある。
- ・警備会社の選定について、入札を行うべきである。
- ・リース化を推進しコスト削減に取り組めば、その余った予算で見守り推進員の手当等の拡充を図ることができ、見守り推進員も積極的に行動してくれると思われる。
- ・緊急通報装置は、今後利用者数が増えた場合、リース契約を検討しているということで独居の高齢者が多くなっても安心して生活できると思うので、継続するようにしてほしい。
- ・独居老人をなくす方法を考えてみてはどうか。
- ・孤独死を避けるという観点からは有効だと思うが、抜本的な対策として孤立化を防止するほかの諸施策と連携して進めていただきたい。

3 当委員会の評価

このまま継続

特別支援教育支援員配置事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	7票	3票		
有効性	8票	2票		
効率性	4票	5票		1票
計	19票	10票	0票	1票

2 各委員からの意見・提言

- ・有資格者であるかないかではなく、現場に対応できているかどうかを観点に、支援員個々のレベルアップを図ってはどうか。
- ・支援員の採用基準が現状のままでよいのか。看護師の資格を持っているなど要件があってもいいのではないか。
- ・支援員のスキルアップに向けての取組の拡大を願う。
- ・多くの予算を使っただき、当事者として感謝している。
- ・看護師資格の方がいると助かると思う。
- ・特別支援学校に行けるものであれば行ってもらった方が良いように思う。
- ・支援員の技能充実をさらに行うべきである。
- ・支援員に対して資格取得の支援等を行い、幅広いニーズに応えられるようにすると良いと思う。
- ・障害に応じて支援員の方が児童に付くようになっているが、医療的なサポートがいる場合は、看護師の免許があれば保護者も安心して学校へ登校させることができると思う。
- ・支援員に対しての責任が重いように感じられるが、行政側は担任のサポートであると位置付けていて、保護者側より責任に対して軽く感じた。
- ・学校生活を時折目にするが、特に講習を受けてスキルアップをめざしているとは感じにくい。
- ・どういう支援を受けたいかによって、支援員や学校に対する要求は、違うのかもしれない。
- ・必要ではあるが、支援員の採用に疑問がある。
- ・制度自体は障害者のノーマライゼーションという観点から重要なものである。
- ・支援員のスキルアップという目標をぜひ実現していただきたい。

3 当委員会の評価

このまま継続

愛南町いやしの郷トライアスロン大会実施事業

1 評価の視点

項目	高い /有効	どちらかと言えば高い /有効	どちらかと言えば低い /有効でない	低い /有効でない
妥当性	8票	1票	1票	
有効性	9票	1票		
効率性	7票	2票	1票	
計	24票	4票	2票	0票

2 各委員からの意見・提言

- ・ 町外からの参加者が多く、宣伝効果や経済効果が見込まれるため、継続していくべきである。
- ・ 愛南町民にトライアスロン競技をもっと広めていく必要がある。地元エントリーが13人しかいない。
- ・ 競技参加者の大多数が他県のようなので、愛南町を知ってもらう効果がある。
- ・ 愛南町のコースが良いとのことなので、このまま継続が良い。
- ・ 効果や効率の向上よりは豊かな自然条件を利用したコース設定・運営の大会グレードを高めていただきたい。
- ・ せっかくの大会なので、もっともっと町民が関心を持ってボランティアや協賛で幅広く参加できる体制があればいいと思う。
- ・ 愛南町が県内唯一のJTU公認大会であることは、誇りである。
- ・ 西海に限らず、ほかの地域も元気になるイベントがあればいいと思う。
- ・ 毎年ボランティアで参加しているが、どなたからも喜びの声をもらい、大変良いイベントだと思う。
- ・ 町民にも知ってもらうため、南海放送の番組を放送してはどうかと思う。
- ・ 愛南町の人間の良さに出逢える。
- ・ コースについて、将来的に参加者のニーズに答えられるように適正化していくべきである。
- ・ 特に駐車場の確保は第一条件であり、これにより3年以降の参加者が大きく変わると思われる。
- ・ 船越地区でのコースは厳しいが、参加者には好評、地元住民も一体化してボランティア活動に参加し、応援しているので、町の活性化につながっていると思う。今後も愛南町全体で盛り上げて続けてほしい。
- ・ 地域の活性化や子どもたちの体験として成果が出ているようなので、今後は拡大よりもクオリティアップかと思う。
- ・ 地元住民の方々と連携してイベントが育っていることは素晴らしいと思う。
- ・ 財政面から、外部スポンサーの獲得を進めていただきたいと考える。

3 当委員会の評価

このまま継続

3 委員名簿

(敬称略・順不同)

番号	職務	氏名	住所
1	委員長	中山 孝二	愛南町御荘平城
2	副委員長	島本 知子	愛南町満倉
3		兵頭 堅次	愛南町須ノ川
4		宗田 清昭	愛南町御荘菊川
5		砂田 陽子	愛南町御荘平城
6		中平 道代	愛南町城辺甲
7		大下 真紀	愛南町城辺甲
8		太田 英和	愛南町満倉
9		吉澤 直人	愛南町樽見
10		國光 甘雨	宿毛市駅東町

